

スピリチュアル物語

68話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリ奥特内スターボックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal・Zelle)



「自分とはどういう自我と自己を持つ人間なのかを深く知る？」理解に追い付こうと必死なウィザット。一方「自分とは、本来の自分である自我と他者から見た自己との二重構造であり、それを深く知ること、他者とも真の関係性が築ける、ということですよね」マジヨリアルは優等生顔。「そうじゃ。自我と自己との兼ね合いを知ること、自分と他者との兼ね合いも見えてくる。自分と他者との関係性は、自我と自己との関係性の映し鏡じゃからのう」マグワートが応える。

「誰にでも自分の中に自我と自己という二人の自分が存在しているのかい？」ウィザットが質問。「自我とは自分が思う自分像。自己とは他者から見た自分像じゃが、厳密には完全に他者の視点には立てないので、想像の範疇にはなるが、自分は他者から恐らくこういう人間と思われるているであろうという視点じゃ。自我と自己が全く同一という人は稀で、中にはまるで違う場合もある。よく自分を愛せない人と人を愛せないと言うが、自分を愛するとは、自分とはどういう自我と自己を持つ人間であるのか、それぞれを自分という人間を構成している一要素として、否定も肯定もせず認め、受け入れること

じゃ。つまり、自我と自己に対する採点抜きでの理解と受容が、健全なる自己愛を育み、自己価値を高め、延いては他者の中の自我と自己に対して、も理解と受容をジャッジ無しのスタンスで持つことが出来れば、自ずと関係性は好いものとなるのじゃが、その為にはバウンダリーに関しての理解と受容も重要になってくる」



★これまでのお話(1~67話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 9月14日号につづく!